

第5回 大分川・大野川水系流域治水協議会

第9回 大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

1. 概要

第5回流域治水協議会、第9回減災対策協議会【第1部】では、先進地域からの事例紹介を前見附市長の久住様から講演頂きました。【第2部】では新たな機関として阿蘇市が参画し、大分川・大野川水系流域治水プロジェクトの変更について了承されるとともに、「大分川・大野川の令和4年出水の概要」「大分川・大野川水系流域治水プロジェクト」の具体的な取組状況について確認しました。

2. 実施状況

- 日 時：令和5年5月26日（金）13:30~15:00
- 場 所：大分河川国道事務所 別館会議室（対面+WEB会議）
- 出席者：大分市長、竹田市長(代理)、豊後大野市長、由布市長（代理）、臼杵市長（代理）、大分県生活環境部防災局防災対策企画課長(代理)、土木建築部河川課長(代理)、砂防課長（代理）、公園・生活排水課長（代理）、建築住宅課長（代理）、都市・まちづくり推進課長(代理)、農林水産部農村基盤整備課長（代理）、森林保全課長(代理)、森林整備室長(代理)、中部振興局農林基盤部長（代理）、豊肥振興局農林基盤部長、大分土木事務所長、竹田土木事務所長、豊後大野土木事務所長、産山村長(代理)、高森町長(代理)、阿蘇市長（代理）、熊本県土木部河川港湾局河川課長(代理)、阿蘇地域振興局土木部長、高千穂町長（代理）、宮崎県県土整備部河川課長（代理）、西臼杵支庁長(代理)、農林水産省九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所長(代理)、林野庁九州森林管理局大分森林管理署長、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター大分水資源整備事務所長、気象庁大分地方気象台長、国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所長

3. 議事内容

【第1部】
先進地域からの事例紹介（前見附市長 久住 時男 様）

- 【第2部】
- ①規約の改正(案)について
 - ②大分川・大野川水系流域治水プロジェクトの変更について
 - ③大分川・大野川の令和4年出水の概要について
 - ④流域治水協議会及び減災対策協議会の取組について
 - ⑤その他 ・今後のスケジュール(案)について

4. 各機関の主な取組等

- 大分市長
 - ・これまで大分川水系では4箇所のポンプ場を整備してきたが、今回新たに片島地区にポンプ場の建設が完了し、供用開始した。
 - ・大野川水系では3箇所のポンプ場を整備してきたが、令和5年には新たに森雨水排水ポンプ場の着手を予定している。
- 豊後大野市長
 - ・伝達手段の多重化のための防災無線のデジタル化が昨年3月に完成した。
 - ・大野川の上流域に位置しているため、治山・治水として未整備森林の整備によりしっかり水をためて下流に迷惑をかけないように取り組んでいる。
- 由布市 防災危機管理課長（由布市長代理）
 - ・水害の教訓をいかし、防災減災に取り組むため、研修会等を実施、今ある課題の発掘、課題解決にむけて。区全体で取り組むための組織づくり、喫緊の課題解決に取り組んでいる。
 - ・昨年の台風14号では、早めの避難が行われ、けが人の発生は確認されなかった。大分大学学生および教職員による災害ボランティアが多岐にわたる活動をした。
- 竹田市 総務課長（竹田市長代理）
 - ・防災士の養成を行っており、これまでコロナの関係で訓練が実施できていなかったが、今年度は積極的に実施していく予定。
 - ・住民の避難行動の一助とするため、大野川の上流に河川監視カメラを2台増設予定。
- 大分県
 - ・昨年の台風14号では玉来ダムは試験淡水中ではあったが貯留することによって治水効果を発揮した。
 - ・大谷川金谷地区に大谷遊水地を新設し、地区の浸水被害の軽減を図る。



大分河川国道事務所
所長 河崎拓実



大分市
市長 足立信也



豊後大野市
市長 川野文敏



由布市（代理）
防災危機管理課長 赤木知人



竹田市（代理）
総務課長 熊谷芳浩



大分土木事務所
所長 岸元和明